

< コンタクトレンズとは >

「コンタクト」とは「接触」という意味で「コンタクトレンズ」は角膜に「接触」させて装用し、屈折異常を矯正する高度管理医療機器です。角膜を通して入ってきた光を主に水晶体が屈折させて網膜上に像を結ぶことで「モノを見ること」ができます。

視力矯正する原理は眼鏡と同じです。コンタクトレンズが眼鏡と異なるのは「目に直接触れさせて、まるで自分の目の一部のように使えること」です。



< コンタクトレンズのメリット >

眼鏡に比べ

- フレームがないから視野が広い。
- コンタクトレンズは眼球と一緒に動くので、自然な状態でものを見ることができる。
- レンズが曇らない。
- ズれないからスポーツも快適。
- 強度近視の方、左右視力が大きく違う場合は眼鏡よりコンタクトレンズの方が視力矯正に効果的。



Q 眼の中に入れて痛くないの？

A やわらかいソフトタイプなら、初めてつけたその日から違和感を感じることなくスムーズにお使いいただける方が多いようです。固いハードタイプの場合でも、痛いというより、異物感（コロコロ感）を感じる方は多いようですが、ほとんどの方が一週間程度で慣れて異物感を感じなくなります。

Q 眼の裏に入って取れなくなってしまうの？

A 眼はまぶたの奥で白目とつながって袋のようになっている構造のため、眼の裏側に入ってしまうという心配はまったくありません。何かの拍子に、コンタクトレンズがずれることはありますが、万一袋状の上部や下部に入り込んでしまっても、自分で簡単に直せます。

※ コンタクトレンズを初めて使用の方はつけはずしができるように装着脱のための練習が必要になります。

当院ではコンタクトレンズの処方だけでなく、つけはずしの練習も行いますので、安心して始めていただけます。

